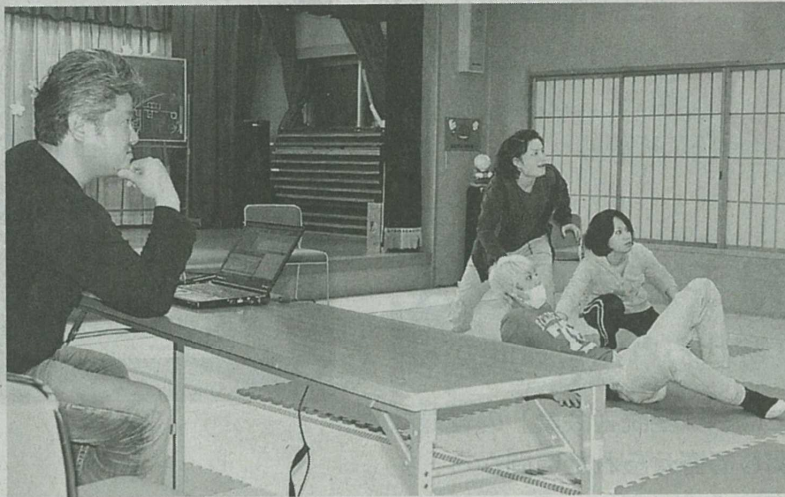


大災害に立ち向かう姿描く

東京電力福島第1原発から30キロ圏内の福島県川内村に村唯一の採石場を持つ石材会社「イシフク」(本社・静岡市)の4代にわたる物語を通し、大災害を乗り越える企業の姿を描いた劇「イシフク物語」が5月31日と6

真剣な表情で劇団員の演技をチェックする「劇団●天八」の福満宏之代表(左端)＝兵庫県尼崎市内で



福島の採石場取材 「イシフク物語」上演

月1日、大阪市東淀川区の市立青少年センターで上演される。今も風評被害や避難生活に苦しむ福島の被災者に演劇を通してエールを送る。

兵庫県尼崎市の「劇団●天八」が演じ、代表の福満宏之さん(41)がはじまり。その中で、採石場をテーマパーク化して一般の人に石材の切り出しを見てもPR方法を相談したのがはじまり。その中で、原発事故の風評被害は深刻で、現在も売り上げは震災前の半分に下がりが、社員を一人も解雇せず、経営を続けた。

同年9月に採石を再開。原発事故の風評被害は深刻で、現在も売り上げは震災前の半分に下がりが、社員を一人も解雇せず、経営を続けた。

同年9月に採石を再開。原発事故の風評被害は深刻で、現在も売り上げは震災前の半分に下がりが、社員を一人も解雇せず、経営を続けた。

5月31日と6月1日東淀川

が脚本・演出を務める。劇団が震災をテーマにするのは、阪神大震災で被災した酒蔵の復興を描いた「酒蔵ものがたり・命の水」に次いで2作目だ。

今回の作品は、日本石材産業協会(東京都)と親交のあった福満さんと親交のあった福満さんが脚本・演出を務める。劇団が震災をテーマにするのは、阪神大震災で被災した酒蔵の復興を描いた「酒蔵ものがたり・命の水」に次いで2作目だ。

今回の作品は、日本石材産業協会(東京都)と親交のあった福満さんと親交のあった福満さんが脚本・演出を務める。劇団が震災をテーマにするのは、阪神大震災で被災した酒蔵の復興を描いた「酒蔵ものがたり・命の水」に次いで2作目だ。

今回の作品は、日本石材産業協会(東京都)と親交のあった福満さんと親交のあった福満さんが脚本・演出を務める。劇団が震災をテーマにするのは、阪神大震災で被災した酒蔵の復興を描いた「酒蔵ものがたり・命の水」に次いで2作目だ。

今回の作品は、日本石材産業協会(東京都)と親交のあった福満さんと親交のあった福満さんが脚本・演出を務める。劇団が震災をテーマにするのは、阪神大震災で被災した酒蔵の復興を描いた「酒蔵ものがたり・命の水」に次いで2作目だ。

【吉田卓夫】